

Fetch.AI : トークンの概要

将来の経済のための分権化された世界

トビーシンプソン、アーサーメドウズ、フマユーンシェイク2019年
2月

主なリリース

バージョン 2.0H

万が一、英語版といずれかの翻訳版に相反する箇所がある場合には、原本である英語版が優勢となります。

If there is a conflict between the English version and any translated version of the Fetch.AI Token Overview document, the original English version will prevail.



目次

目次	2
この文書に関する重要な通知および条件	4
主要な要約情報	6
Fetch. AI Foundation Pte Ltdによるトークン発行	8
Fetch. AIプロジェクトの概要	9
アプリケーション	9
新しい機会	10
Fetch. AI トークン	11
Fetch. AI トークンの役割	11
ERC-20 トークン	13
トークン経済学	14
トークンの割り当て	14
トークンの権利行使	15
時間の経過とともに循環するトークン	16
経済の概要	17
コンセンサス形成	17
Smart Ledger	17
マイニング報酬	18
予測	19
資金調達目標	21
資金の概要と学術的パートナーシップの使用	21
年間予算編成	22
ネットワーク開発プログラム	23
予定マイルストーン	25
詳細情報	27
付録	28
プロジェクト文書	28
コード リポジトリ	28
貢献者の更新	28





この文書に関する重要な通知および条件

この紙面は、Fetch. AI Foundation Pte Ltdにより、同社の情報目的のためのみに準備および発行されており、修正、旧文書の無効、または置き換えがあります。本書へのアクセス、本書の使用および依存は法的条件 (<https://fetch.ai/legals>)、特に一般的な免責条項および条件 <https://fetch.ai/legals/disclaimer> の対象となります。加えて：

- このドキュメントには、将来の見通しに関する記述、予測および情報が含まれています。このような記述には、実際の結果が本書で提案された将来の業績と大きく異なる可能性がある未知のリスクと不確実性が含まれています。Fetch. AI Foundation Pte Ltdもその関連会社も、そのような将来予測に関する記述が正確または適切である事の表明も保証も行っておりません。
- この文書は、本明細書で企図されているトークンを売買したり、売買オファーの勧誘を構成するものではありません。本書に記載されているトークンの販売または購入のオファーは、シンガポール通貨当局、米国証券取引委員会またはその他の規制当局によって承認されていません。特定の管轄区域内の個人は、そのトークンが投資有価証券とみなされ、Fetch. AI Foundation Pte LtdまたはBinance Launchpadによるトークンの提供に関連する諸条件に従って、その管轄区域内でのトークンの購入を制限されます。
- このドキュメントは、トークンに関連付けられているか、またはFetch. AIプロトコルおよびプラットフォームに参加している可能性のあるすべてのリスクを特定または定義することを目的としていません。
- 貢献者は独立した調査をすべきであり、財務、法律、税務および会計顧問との協議を含むがこれに限定されず、適切であると考えられる分析を行うべきである。
- すべての日付および数値は、市況およびその他の制限に応じて変更される場合があります。
- このドキュメントの情報は、投資アドバイスやトークンの購入、またはFetch. AIプロトコルとプラットフォームへの参加勧告と解釈されるべきではありません。
- この文書は、購買トークンのメリットとリスクを評価したり、Fetch. AIプロトコルとプラットフォームに参加することができるように、財務およびビジネス上の知識と経験を有する可能性のある貢献者のみが読むものとします。
- プロジェクトへの貢献者は、トークンの購入またはFetch. AIプロトコルおよびプラットフォームへの参加に伴う損失のリスクを負うことができなければなりません。



この文書の配布または普及は、法律、規制要件、および特定の管轄区の規則によって禁止または制限される場合があります。このような制限が適用される場合は、あなたはそれについて自ら報告する責任があり、この文書の所有に適用されるすべての制限を守る責任があります。この文書は、Fetch.AI Foundation Pte Ltd. の事前の同意なしに、他の人物に一部または全部を、いかなる目的においても再配布、公開、または転送することはできません。これらの条件に同意しない場合は、この文書を引き続き読まずにシステムから削除してください。



主要な要約情報

- 本書3ページに記載されている免責事項と注意事項をよくお読みください。 <https://fetch.ai/legals/disclaimer>。さらに重要な情報と 文書はこちらをご覧ください <https://fetch.ai>
- Fetch. AI Foundation Pte Ltdは 最初に1, 152, 997, 575のトークンを トークン生成イベント (TGE) の一環として、Ethereumネットワーク上にERC-20トークンを発行する予定です。
- Binance Launchpadでの公的資金調達ラウンドのハードキャップは、6%のトークンに対して600万ドルです。
- 2019年2月に予定されているパブリックセールで入手可能なFETトークンの数量と価格は決定されていませんが、この情報は当社の専用トークン販売ウェブサイト [://token.fetch.ai](https://token.fetch.ai)で入手できます。
- トークンの売却で売れなかったトークンは、TGE後12か月で直ちに発行者に割り当てのために残り、24か月間にわたって定期的にリリースされます。
- FETトークンの17.4%追加分は、TGE後12か月で直ちに5年間の設定された期間にわたって、制御された方法でリリースされます。これにより、パブリックへの直接可能なトークンの最小数は30%になります。
- ERC-20トークンは、再分割可能なネイティブFetchトークンと約1対1の固定変換レートで交換されます。
- パブリックセールプロセスに関する詳細はTGEに近くなります (例、個人が購入できるトークンの最小数と最大数)。ニュースおよびその他の情報を最新の状態に保つ方法の詳細については、このドキュメントの「詳細」を参照してください。
- 発行者は、Fetch. AI エコシステムをサポートおよび開発するために、3年間にわたって権利が与えられたトークンの20%を保持します。
- ERC-20トークンが、パブリックテストネットワークに参加するため必要となります : Fetch. AI ネットワーク、 プロトコル、 およびプラットフォーム の一部としての開発とフェッチ. AI コードの利用。
- マイニング報酬は、ネイティブFetch. AIトークンの15%で構成されています。これらの追加的なインセンティブは、エージェントへの提供サービスによって生成される価値 (検索、発見、予測、および信頼情報) によって、時間とともに置き換えられます。マイニングは2019年末に向けてのメインネットワークのリリースから始まります。





Fetch.AI Foundation Pte Ltdによるトークン発行

本ドキュメントの目的は、シンガポール1の法人、Fetch.AI Foundation Pte Ltdが発行するトークンエコノミクスを説明することです。

登録番号：201810667K。

登録住所：50 Raffles Place #32-01、シンガポールランドタワー、シンガポール048623

この会社は、以下を目的とする発行者で構成します：

1. FETトークンとネイティブのFetch.AIトークンを発行して配布
2. Fetch.AIプロトコルとプラットフォームの開発とメンテナンスを監督
3. Fetch.AIネットワークの公平で適切な運用を監督する
4. Fetch.AIプロトコルおよびプラットフォームの知的財産を使用する権利を有する



Fetch. AIプロジェクトの概要

フェッチAIは、自律的ソフトウェアエージェントが有用な経済ワークを行う現実世界の分散型デジタルプレゼンテーションです。つまり、データの配信やサービスの提供などのタスクを実行でき、取り組みのためにデジタル通貨である「Fetch. AI Token」で報酬を受けます。彼らの世界は、地理的にだけでなく複数の有用な次元で編成されています。すなわち、安全性、意思決定のポイントおよび他の経済的要因はすべて、エージェントが彼らが居住する空間を見ることができる方法を形成しています。

Fetch. AIプロトコルとネットワークは、その価値を必要としている、あるいは必要としている可能性がある価値を持つエージェントと繋がる方法と見なすことができます。それはデジタルエンティティのためのmissig search-and-discoveryで、インテリジェントで自律的なエージェントが、それらのために設計された世界において効果的にお互いを見つけることができるように、しかし実際の世界にシームレスにインターフェイスするものです。それは、機械から機械経済のための新しい経済的インターネットを提供し、摩擦を取り除き、効率と利用を高めるための銀行等媒介排除メカニズムとして機能します。

Fetch. AI エージェントは、データ、サービス、ハードウェア、人間またはインフラストラクチャセグメントなどの物を表すデジタルエンティティと考えることができます。Fetch. AI エージェントはステークホルダー（個人、民間企業、政府など）のためだけでなく、自らのために意思決定を行うことができます。

Fetch. AIのデジタル世界は、オープン・エコノミック・フレームワーク（OEF）を介してエージェントに公開され、高性能で低コストのトランザクションを実現する独自のsmart ledger技術によって支えられています。元帳は、時間の経過とともに市場インテリジェンスと信頼を構築し、使用されるネットワークの価値を高めていく有用なproof-of-work（ μ PoW[®]）を提供します。

Fetch. AI は、最小限の労力で既存のシステムにきちんと接続でき、旧経済を活用しながら新しい経済を活用すること、すなわち、既存のデータをFetch. AI にプラグインし、新しい情報市場が自発的にボトムアップすることができます。

アプリケーション

このような技術のアプリケーションは多くあります。Fetch. AI は、データを生かすことによって、今日のデータ業界における最大の問題の1つを解決します。すなわち、データそれ自体売ることができない。Fetch. AI なら、できます。データは、あら

ゆる市場や、そのタスクを可能な限り容易にするために絶えず再編成されている環境の中で、それ自身を活用するあらゆる機会を積極的に利用することができます。Fetch. AI エージェントによるIoT (Internet-of-things) デバイスは、既存の情報サービス市場だけでなく新しい情報サービス市場でも、所有している情報を売却するという一時的機会を資本化することにより利用率を高めます。: 例えば車内のエージェントは単にワイパーとワッシャー作動で、天気と道路状況を提供することが可能です。

Fetch. AI の分散型デジタル世界は、新しい市場の出現を可能にし、容易にします。そしてこの「非現実的な財産」が互いに近くに関連する市場を設置しあえるようにします。データ、ハードウェア、およびサービスの代理として機能するエージェントの能力は、交通機関や保険といった高度もしくは緩やかに結合されたサービスのより整った配信を可能にします。Fetch. AIは日常生活の中で複雑なソリューションを提供するコストを削減するために、単独で又は他の個人と、若しくは企業内の達人と共に働くことができる、膨大な数のデジタルデータアナリストおよびセールスエージェントを生み出します。

新しい機会

Fetch. AIの自律的エージェントは、必要とする人や無意識に必要としている人に積極的に価値を伝えます。オープン・エコノミック・フレームワークは、使用されるにつれて価値のあるものが生まれるデジタル・ワールドを提供します。すなわち、形成される集団インテリジェンスは、高速で高信頼性のトランザクションを可能にする比類のないガイダンスを提供します。ネットワークの拡張された計算能力は、すべてのエージェントに、データから新しい洞察と理解を得る能力を提供します。

システム全体に統合された機械学習技術により、元帳からエージェントに至るまで、インテリジェンスを可能にし、奨励し、配備し、積極的に新しい知識を創造するネットワークです。Fetch. AIは、ノード構造、OEF API、およびエージェント開発ツールキットを提供し、エージェントを容易に配備できるようにします。

人間の仲介業者を信頼できるデジタル代理店に置き換える機会が存在するため、自律経済エージェントの開発からすべての新しい業界を構築することができます。以前は不採算だったデータセットを使用したところコストと問題が劇的に減少したため、Fetch. AIにとって重要になりました。データとハードウェアは今や自らの足で立ち上がり、人間の介入を完全に免れることができます。



Fetch. AI トークン

Fetch. AI Foundation Pte Ltdは、セキュリティ上の通信などのネットワーク操作だけでなく、すべてのトランザクションのデジタル通貨としてネットワーク上で使用される固定数の分割可能なトークン（FETトークン）を発行しています。メインネットワークのリリースの一部として起動されたネイティブFetch. AIトークンは、特定の操作を実行することを望むノードとエージェントの両方に対するFetch. AIネットワークでのアクセス保証金を構成することもできます（悪い動作を妨げるセキュリティメカニズムとして） Fetch. AIが、データ、トランスポート、サービス、およびIoT業界での足がかりとなり、各セクターがFetch. AIネットワークの経済的スループットに大きく貢献するにつれて、トークンの使用量と採用が増加します。

ETFトークンはイーサリアム上で発行され、保持者に、エージェントや有用なproof-of-work開発およびアプリケーションの構築とテストを目的としたパブテストネットワーク上のFetch. AIトークンを生成する権利を与えます。詳細は、「ERC-20トークン」をご参照ください。2019年後半にメインネットワークがリリースされると、トークン生成イベントで発行されたERC-20トークンはFetch. AI トークンに変換できます。その時点でERC-20 Fetch. AI トークンは削除される一方、エージェントの開発はすべてそのまま残ります。メインネットワークが稼働すると、エージェントおよび予測サービスからの価値が高まるにつれて、マイニング報酬がノードオペレータに追加のコンピューティングの実行を促すようになります。この操作がどのように行われるかの詳細とそれを取り巻くセキュリティ手順は2019年にFetch. AIが公開します。

このドキュメントの後半の「計画されたマイルストーン」セクションでは、ネイティブFetch. AIトークンに向けたロードマップの詳細を説明しています。

Fetch. AI トークンの役割

Fetch. AI トークンは、Fetch. AI ネットワーク上の価値交換の重要な手段です。すべてのネットワーク交換では、ネットワークに登録する払い戻し可能な方法として、ステークするため、そしてネットワーク上の作業に価値を戻すためのメカニズムとして必要です。Fetch. AI トークンを使用することで、自律的な経済エージェントが物事を遂行することができます。

Fetch. AI のトークンを使用することで、エージェントがデジタルワールドにアクセスできるようになります。Fetch. AI トークンで現実世界に、複数の場所に存在することが可能となり、価値を配信したり得たりするための他のエージェントを探すことも可能になります。この価値は、サービス、データ、インフラストラクチャの使

用、AIやMLアルゴリズムなどのデータ処理へのアクセスの形をとることができます。

Fetch. AI トークンは多くの目的で使用できますが、主なもの5つは次のとおりです。

- **エージェントとノードをネットワークに接続する機能。** これはアクセスデポジットトークンで 適切に行動したいという希望を実証するためのステークの一形態として働くものです。悪い何ものかが望ましくないノードやエージェントをネットワークにあふれさせる能力をコスト増により調整します。
- **エージェント間の価値交換。** Fetch. AI トークンは、2人の エージェントが、どこにいても価値交換を実行しえるために必要です。Fetch. AI トークンは無限に分割できるため、金銭的価値が非常に低い取引もサポートされますが、総括的には洞察とチャンスの新しく深いレベルをもたらします。
- **デジタル世界へのアクセス。** 分散デジタルワールドへのアクセス、表示、および対話をするためにFetch. AI トークンが 必要です。これは、デジタルエンティティのために最適化された空間です。実際の世界をさまざまな次元で抽象的に表現することで、機械が意味を持ち作業をすることができます。エージェントのためのデジタル世界のすべての側面にアクセスするには、Fetch. AI トークンが必要です。
- **元帳ベースのAI / MLアルゴリズムにアクセスして開発する機能。** Fetch. AI トークンは 台帳上で利用可能な幅広い機械学習および人工知能タスクの開発やアクセスを可能にします。信頼モデルや予測モデルなどの開発された主要なサービスを取得するものでも、ネットワークユーザー向けに大規模に独立して開発されたサービスでも可能です。Fetch. AIはこれらをまとめてSynergetic Computing¹ と呼びます。
- **Fetch. AIオペレーション燃料との交換。** Fetch. AIの運用コストは イーサリアムネットワーク上の “ガス”と同様の方法でFetch. AIトークンから削除されますが、そのような燃料の安定性を高め、高速および低速の経済に関連する問題に取り組むための追加の機能を備えています。Fetch. AIの運用燃料で、契約実行のための処理時間とエージェントのサービスへのアクセスが可能になります² 。

¹ Fetch. AIとのSynergetic Smart Contracts について <https://medium.com/fetch-ai/synergetic-smart-contracts-with-fetch-ai-fb5d5812d767>を参照してください

² これらのサービスの詳細についてはTechnical Introduction Paper (<https://fetch.ai/uploads/technical->)のセクション2.1を参照してください。それらには、検索、発見、サービスの宣伝、世界観、デジタル世界の数次元での “移動”能力、コミュニケーション、日和見的検索のための登録などが含まれますが、これに限定されません。



ERC-20 トークン

Fetch. AIのトークン生成イベントでは、ERC-20 Fetch. AIトークンが発行されます。これらはパブリックテストネットワークにアクセスするために必要です。ERC-20 Fetch. AIトークンの所有者は、開発とテストのために定期的にFetch. AIテストトークンを比例的に生成することができるようになります。Fetch. AIテストトークンは、以下を含む多くのものに使用できます：

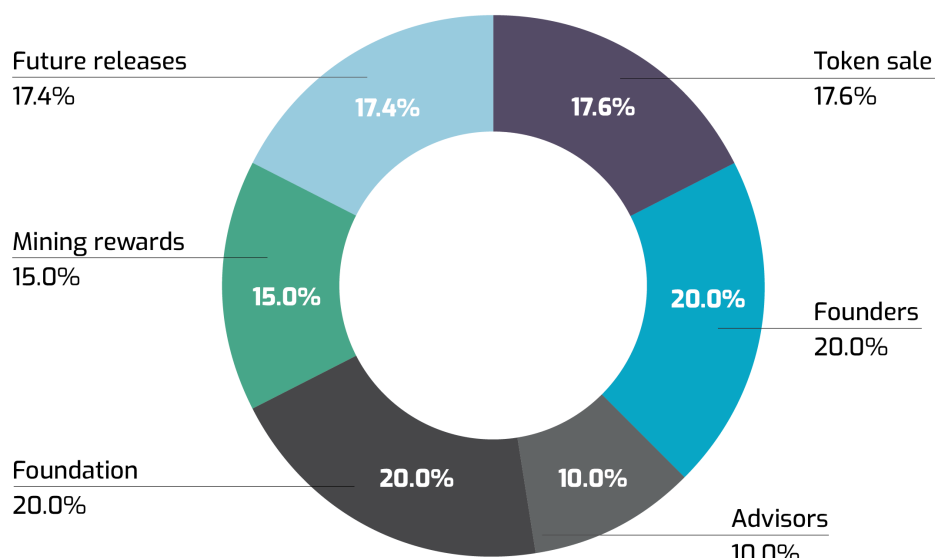
- **エージェント開発。** 保有者はFetch. AIネットワーク上であらゆる種類のエージェントの開発およびマナーテストをすることができ、データ、サービス、ハードウェア機器、人や既存の経済または他の分散ネットワークとの接続を容易にするネットワークを含みます。
- **ネットワークへの参加。** 主にFetch. AIネットワーク参加申込書（NPA）を介し、これには、デバイスのセンサーと情報をFetch. AIネットワーク上に存在するエージェントに変換するように特別に設計されたモバイルアプリケーションをダウンロード、インストール、使用することが含まれます。また、テストトークの使用によるダイレクト価値交換を行い、Fetch. AIの世界を探求することを容易にします。
- **ノードの開発と運用。** 保有者は公開テストネットワークのノードを操作することができ、エージェントにサービスを提供したり、自身や他のユーザに代わって有益な作業証明の形式で処理を実行することができます。
- **経済分析。** ネットワークの全体的なパフォーマンスと経済性の分析、トークンごとのユーティリティ値がどのように提供されるかを調べます。
- **AI / ML開発。** 所有者は機械学習と人工知能アプリケーション、サービスを開発し、有用な作業証明の一部としてそれらを実行させることができます。そのような開発者とノードオペレーターの間で、これらのアプリケーションとサービスは、それらのアプリケーションとサービスを必要とする人に提供し、それに応じて価値交換することができます。

本質的に、ERC-20トークンなしでFetch. AIテストネットワークを開発したり参加したりすることは一切できません。このERC-20トークンは、テストネットワークの既存のユーティリティ値にアクセスするためのキーイネーブラとして機能し、将来のユーティリティ値を開発してアクセスする機能を促進するコンポーネントとしても機能します。

トークン経済学

生成されるトークンの総数は、1,152,997,575³。それ以上のトークンは作成されませんが、ネイティブFetch. AI トークンは無限に細分化できます。

トークンの割り当て



トークンの分配	額
基本 ⁴	20.0%
設立者	20.0%
トークンセール（シードラウンドとプライベートラウンド、そしてパブリックセール）	17.6%
今後のリリース ⁵	17.4%
マイニング	15.0%

³ ネイティブFetch. AI トークンが2019年後半に作成されると、ネイティブトークンへのERC-20フェッチトークンの交換は、1対1の固定変換レートで行われる見通しです。

⁴ これらのトークンは、Fetchエコシステムをサポートし、直線的に権利確定するためにFetch. AI Foundation Pte Ltdによって保持されています。

⁵ これらのトークンは、TGEの後12か月で直ちにコミュニティにリリースされます。



顧問	10.0%
----	-------

トークンの権利行使

トークン流動性を管理し、Fetch.AI トークンに安定性を提供するために、発行されたトークンのいくつかには様々な権利確定期間が適用されます。特に、顧問、創設者およびファウンデーションに発行されたものは、3年間の権利確定期間の対象となります。マイニングトークンは、エージェントサービスの提供価値が高まる中でノード事業者インセンティブを与えるためのもので、5年間にわたって導入されています。割り当てられたトークンおよび権利確定期間は、以下の表に示されています。

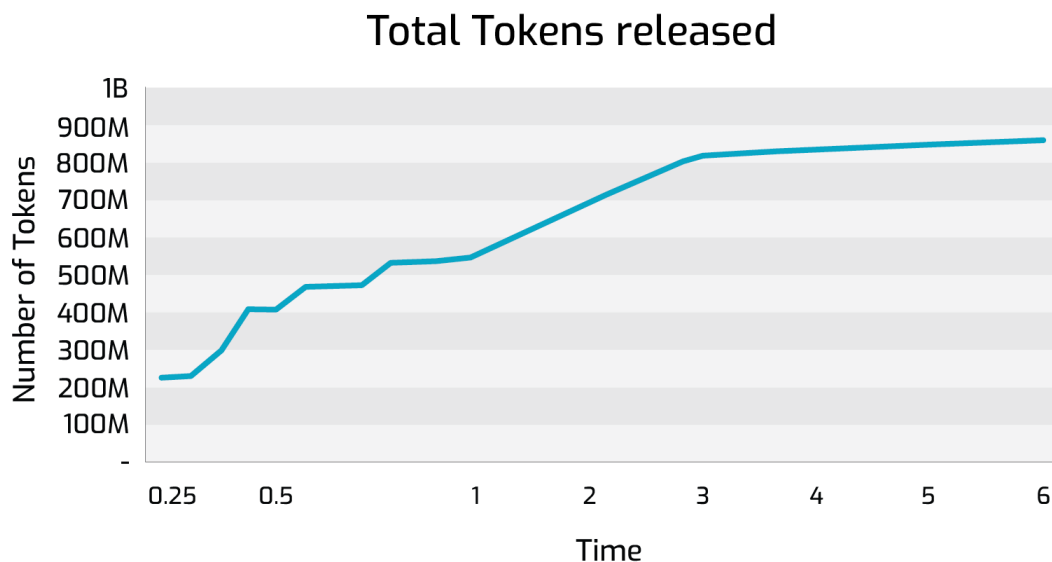
:

グループ	注釈	権利確定期間： (TGEから開始)
プライベートセール	トークンはシード投資家に、そしてプライベートラウンドの間にVCファンドと認定投資家に売却されました	3か月のロックアップ、それから4、5、6か月にわたるリニア権利確定
パブリックセール	2019年第1四半期に予定されているパブリックトークン生成イベント中に発行されます	なし
今後のリリース	TGEの後12か月直後コミュニティにリリース リリースは一四半期を超え最長5年間行われますが、どの年でも3分の1は超えません。	後日確定
未売却分	トークンの売却で売れなかったトークンは、TGE後12か月で直ちに発行者に割り当てのために残り、24か月間にわたって定期的にリリースされます。	後日確定
設立者	創設者、会社の株主、コアチームへのインセンティブ	四半期ごとの権利確定 1年目50% 2年目25% 3年目25%
顧問	アドバイザートークンは、インセンティブを調整するために創設者と一致させます	四半期ごとの権利確定 1年目50% 2年目25%



		3年目25%
基本	ネットワーク開発にインセンティブを与えるため	3年を超えるリニア権利確定期間
マイニング	ネットワークインテリジェンスの発展に伴い、初期のコンピューティングパワープロバイダにインセンティブを与えるために5年間にわたって発行されています。ネットワークの経済パフォーマンスに結びついたリリース率	該当しない

時間の経過とともに循環するトークン



6年以上にわたるトークンリリーススケジュールの例



経済の概要

このセクションでは、元帳のコンセンサスメカニズム、Smart Ledgerの役割、マイニングリワード、予測が生成される仕組み、およびそれらが提供する価値を要約します。

コンセンサス形成

Fetch. AI は、合意を提供するための作業証明とステークの証拠の組み合わせを使用します。新しいブロックは、2つのブロック間で実行される作業によって決定されるトランザクション順序で、通常の立証証明書プロトコルによって作成されます。この作業は、ブロック間で成長する有向非循環グラフ (DAG) に記録されます。DAGは、前のブロックから開始され、コーディネータの必要性を排除するステークの証明によって記されたブロックによって終了されます。

ステークの証明に仕事を導入する目的は、元帳のパフォーマンスを最適化し、帳簿とスマートな契約の中で賢明な（そして困難な）決定と予測を可能にすることです。特に、ブロックマイニングの場合、これは、並行して実行できるトランザクションを特定することによって、トランザクションのスループットを最適化することを目的としていることを意味します。

Smart Ledger

Fetch. AI Smart Ledgerでは、複雑な機械学習とAIソルバーを元帳に配置できます。これらは、通常以下の2つで構成されています：

1. スマートコントラクト
2. 意思決定と予測のためのデータ

Fetch. AIでは、契約は元帳にあり、データ（数百メガバイトの可能性がありますが）はDAG上にあります。DAGの利点は、最初に見つかる最善の問題解決プロトコルを実装する簡単な方法を提供することです。これはブロックがこのプロトコルを通して採掘されるので、ブロックチェーン自体に直接組み込むことはできません。

さらに、Fetch. AIの元帳はデータストアではなく、また重要なことですが機密性が高く、緊密に詰め込まれており、リソースを軽く保ちます。契約では、さまざまなアプリケーションやノードを実行することができ、ノードは現在の最良のソリューションの共有リストを任意の問題に保ちます。ネットワークのユーザーは、任意のソルバーを実行するために支払うことができ、報酬は、コードを実行している人と発信した人の間で分けられます。これにより、Fetch. AIに配置されているAIおよびM

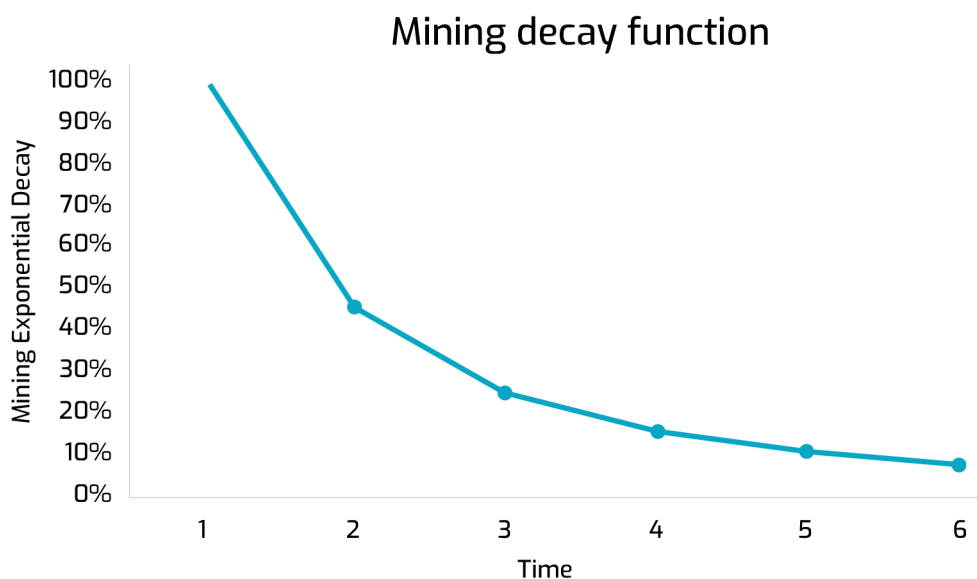


Lソリューションに対して、継続的な支払いメカニズムが提供されます。これらは、ナビゲーション・ソルバー、顔認識、パターン・スポッターなど多くの可能性のあるアプリケーションを網羅しています。

Smart Ledgerプログラムの一部は、Fetch.AIに接続されているエージェントにトラスト、予測、高度な調整を提供するよう特別に設計されています。これにより、任意のエージェントオブザーバに合わせてデジタルワールドの再構築が可能になります。これらのプログラムは、他の有用な作業証明と同様に、そのようなインテリジェンスを生成するためにノードによって自由に実行することができ、報酬を与えられます。

マイニング報酬

作成された各ブロックは、ブロックを最適化したノードとそれを選択したリーダーの間で分割された固定量の Fetch.AI トークンを生成します。ブロック報酬ダイケイ機能は、2019年後半にメインネットワークがリリースされる前に、更なるモデリングを受けます。

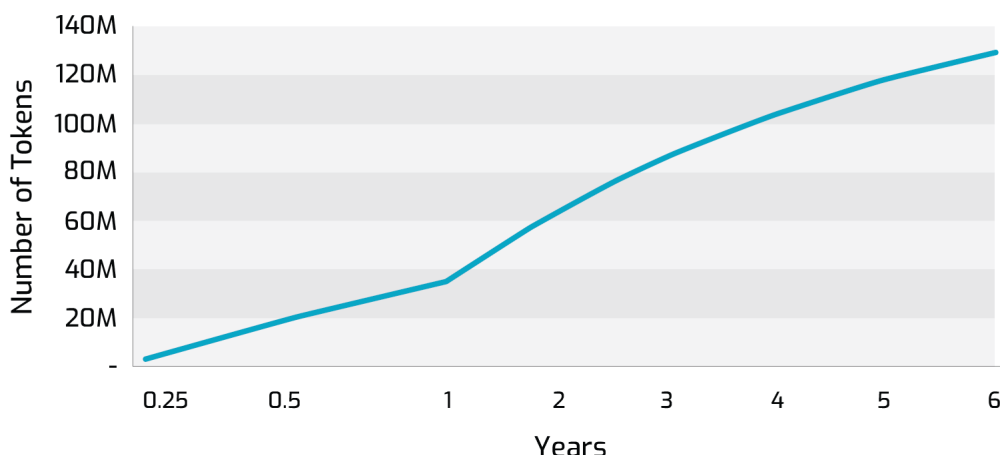


マイニングダイケイの例

さらに、マイナーと選出された指導者が取引から手数料を得る。



Mining Tokens released



約2年間のハーフ・ライフを仮定して（メインネットのローンチから）リリースされたマイニングトークン

発行されたトークンの15%はマイニング報酬として提供されます：ネットワークのパフォーマンスを最適化し、ネットワークユーザーの信頼と予測情報を生成するために有用な作業証明の計算を行っている人に発行されたトークンです。

ネットワークの集団知性が高まるにつれて、ノードは エージェントへのサービスの提供によってその価値の大部分を作ります。これらのサービスには、エージェントが デジタルワールドを見て検索できるようにし、世界を構築するための予測モデルの組み込みが含まれています。エージェントの 需要が増加するにつれ、ノードのサービス需要も増加しています。この需要は、そしてサービスすることによって生成されるノード収入は、マイニング報酬に直接影響を与えます。

さらに、ノードは信頼性情報をエージェントに送信し、エージェントが可能な限り迅速な意思決定を行うことができます。これらのサービスを提供するためのトークン報酬は、時間とともに増加します。この値が増加している間に追加のインセンティブとして Fetch. AI の最初の年にマイニングのトークンが存在します。

予測

Fetch. AI の集団インテリジェンスは、デジタルワールドがそれを見ている個人に適応することを可能にする予測と知識をデータから提供します。これらの予測には **価値があります**。ビジネスを行っている典型的なエージェントは、直接的や間接的に複数使用することができます。

- **間接予測** 使用は、可能性のあるエージェントとして Fetch. AI によって導入された他のエージェントとの価値交換から生じます。また、エージェントがデジタルワールドを探索し、その周辺の情報を収集し、いくつかのネットワ



ーク次元の1つでも情報を収集しても生じます。これらの品質が高まるにつれて、エージェントにとっても価値が高まります：導入はより正確でそのワールドはより関連するため、摩擦の少ないより経済的な交換が可能になります。

- 直接予測 使用は、特定の入力パラメータに基づいて予測を受信するために、エージェントが接続しているノードの1つにエージェントがアクセスする場所です。間接的な予測と同様に、これらの品質と価値は時間とともに増加し、ネットワークのすべてのユーザーに市場の洞察を提供します。

Fetch.AI は、2018年第3四半期および第4四半期に利用可能となる詳細な経済モデルを作成しており、これらの予測の価値をより詳細に概説しています。



資金調達目標

Binance Launchpadでの公的資金調達ラウンドのハードキャップは、6%のトークンに対して600万ドルです。

資金の概要と学術的パートナーシップの使用

スタッフと給与コストは最大の単一支出です。当社の開発本部は英国ケンブリッジにあります。さらに、オーストリアとインドにもチームがあります。Fetch. AI ネットワークを完全に展開するあたり、ヨーロッパ、アジア太平洋、北米のビルディングを想定しています。

重要なことですが Fetch. AI は世界中の非常に優れた学術基盤の中で深い専門知識と知識を育成し、サポートし、活用することになります。私たちは、次のような多くの分野の専門家とネットワークを構築します：

AI & ML	私たちはケンブリッジ大学やウォリック大学のAIINグループを含むいくつかの英国の大学と提携しています。私たちは中核となるAIおよびML開発を開発し続けるために新しい関係を開発し続けます。
DLTとブロックチェーン技術	Fetch. AIはUCL ロンドン、ウォリック ビジネス スクールおよびロンドンのインペリアル カレッジとの関係をすでに確立しています。
コンピューティショナル経済学	Fetch. AIが動的な市場を表していることを考えると、ポジティブなネットワークダイナミクスを刺激し、悪意のある行為者を効果的に排除するには、経済市場設計、ゲーム理論、および市場モデリングを適用することが不可欠です。 現在のところFetch. AIはケンブリッジ大学のポスドク研究員を1人後援しています。
生化学および生物学	Fetch. AIの計算プラットフォームは創薬、遺伝学、その他のシステム生化学の側面に応用されています。Fetch. AIはこれらの機会を開発するために多くの学術パートナーと協力しています。



マルチエージェントシステム

マルチエージェントシミュレーションとモデリングの分野で認められた専門家が2人、Fetch. AIのアドバイザーとして活動しています。

年間予算編成

最初の3年間のFetch. AIの支出は、運転資本とその他のコスト、スタッフと給与、法人パートナーシップ、学術パートナーシップの3つの主要カテゴリに費やされます。Fetch. AIは、企業と学術のパートナーシップがアクセラレータとして機能すると考えています。厳しい市場環境のために、これらの分野への投資が不本意ながら減少しても、Fetch. AIは引き続き行われますが、進捗はわずかに遅くなり、Fetch. AIを展開する機会が遅れる可能性があります。これにより、Fetch. AIに追加の不測の事態が発生しえます。Fetch. AI イノベーションとシステムのコアは、より遅いバージョンで長期間に渡って提供されます。しかしながらFetch. AIの規模のプロジェクトでは、より強力な配信の最大の機会を確保するために提示する資金が必要であると考えています。

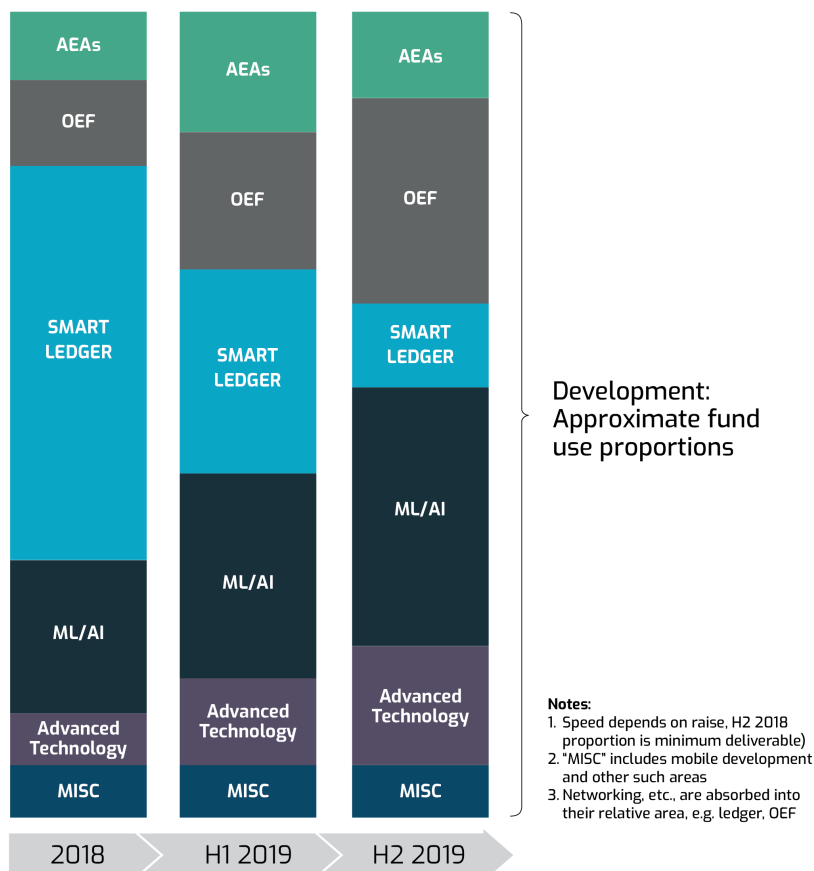
Fetch. AIが招くはるかに大きな費用は、事務所、出張、地域密着などの関連費用の給料と運転資金です。人工知能、機械学習、分権化された元帳、大規模な分散デジタルワールドおよびエージェントベースの緊急経済の分野で働いている私たちは、利用できる最高のマインドに引き続きアクセスする必要があります。企業のパートナーシップにより有用なアプリケーションを構築しネットワークの価値を高め、Fetch. AIのユニークな技術をデモンストレートし適用する新たなチャンスを探求する機会を得ることができます。学術的パートナーシップにより私たちは宇宙の研究開発の最前線におり、雇用と新技術の探究を支援しています。まとめると、これらのカテゴリのすべてを重要視しています。

開発の観点から、Fetch. AIは最初の3年間で展開されるよう、技術開発の特定の分野に費やされる割合を変更しています。下の図は、これがどのように行われるかを示しています。最初の焦点は、コアネットワーク、プロトコル、そして主要なイノベーションでした。2019年を通し、エージェント、デジタルワールド、AIとMLのアプリケーションに焦点を合わせています。

年月と共にFetch. AIの先端技術部門では、より高い割合の開発資金が純粋な研究開発に割り当てられています。この部門では、パフォーマンスの向上、新機能、革新的な機械インテリジェンスのアプローチなど、将来的にFetch. AIを強化する新しいテクノロジーを検討しています。



Fetch: 2018-2019



2020年までの開発資金の概算

上の図は、2018年から2020年の期間における開発資金のおおよその分割を示しています。より高いレベルのデジタルワールド、機械学習、およびAIの側面につながる、コア基盤技術への最初の焦点に注目してください。さらに、パフォーマンス、能力、機械インテリジェンスに対する新しいアプローチを検討しているFetch. AIの先端技術部門の純粋な研究開発には、開発資金の割合が高くなっています。

ネットワーク開発プログラム

Fetch. AIは数多くの企業パートナーシップを発展させました：**MOBI**コンソーシアムのメンバーで、自動車メーカーとOEMメーカーの協力により、輸送およびモビリティ業界におけるブロックチェーンなど。www.dlt.mobi

Fetch. AIは、人工知能イノベーションネットワーク（AIIN）の創設メンバーの1人です。www.aii-network.org



2018年12月、Fetch.AIはヨーロッパのブロックチェーン起源の団体を代表する団体である **Blockchain for Europe** を他のリーダー、EMURGO/Cardano, NEM や Ripple と共同で設立しました。 <https://blockchain4europe.eu>

同時に、開発者コミュニティと連携し、AEAの技術的な実装、実験、開発など、Fetch.AIネットワーク上のノードの作成に関心を持つ人たちを奨励する予定です。Fetch.AIは世界中のテクノロジーミーティングやテクノロジーワークショップのエキサイティングなシリーズを計画しています。



予定マイルストーン

Fetch. AIは2018年の夏の終わりにLedgerコードを発表し、続いて独自のスマートコントラクトおよび相乗的コンピューティングプラットフォームを推進するコードを発表しました。Fetch. AIは、2018年第4四半期に数百のノードを持つプライベートテストネットワークを提供しました。このネットワークは、テスト、エージェントおよびプロトコルの開発に使用されており、2019年第2四半期および第2四半期には、より幅広いネットワークの可用性を実現するために準備されています。さらに、自律的な経済主体とデジタルワールドが必要とする信頼と予測を提供する機械学習など、AI開発に不可欠なテスト環境も提供しています。ネイティブのFetch. AIトークンを含むメインネットワークのリリースは2019年末に予定されています。

	開発	商業
2018年 第1四半期	<ul style="list-style-type: none"> ■ テクニカルイントロダクション ・ ホワイトペーパー 	
2018年 第2四半期	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経済学ホワイトペーパー ■ 元帳のリリース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ チューリッヒでのプライベートセール開始 ■ MOBIコンソーシアムに加入
2018年 第3四半期	<ul style="list-style-type: none"> ■ Scalable Ledgerコード リリース（上記の第2四半期の文書に記載） ■ Fetch .AI Virtual Machine の初期リリース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 世界中の数えきれないほど多数のAI / ML、ブロックチェーン会議でのグローバルスピーキングおよびプレゼンテーションツアー
2018年 第4四半期	<ul style="list-style-type: none"> ■ Synergetic Computing 機能として、Smart Contract用Virtual Machineのコア開発 ■ エージェント用のOEFコードとSDKのリリース ■ 7件の特許出願済み 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 商業用試験はGE Healthcareから始まります ■ 世界中で開発者中心の集会を開始 ■ 他のDLTの思想的指導者と共に Blockchain for Europe を設立しました
2019年2月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 開発リリース：ネットワーク参加ユーザーおよびテストウォレットユーザーの招待により拡張されたプライベートテストネットワークへのアクセス 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Binance内のFetch. AIパブリックトークンセール
2019/4月	<ul style="list-style-type: none"> ■ パブリックテストネットワーク：スマートコントラクトを備え 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 開発者コミュニティサポート ■ メインネット立ち上げ前に商用



	開発	商業
	たフルパブリックテストネットワーク。OEF検索および接続機能を備えた、強化されたオープンエコノミックフレームワーク（「OEF」）を含みます。	テストサンドボックスを使用したPartner Acceleratorプログラムの立ち上げ
2019年6月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 完全な Fetch. AI合意、6 元帳ベースのネイティブ複数当事者間取引、複数依存オークション⁷、分散型元帳コンピューティング 	
2019年7月	<ul style="list-style-type: none"> ■ アルファリリース：Alpha⁸ は、Fetch. AIプロトコルとプラットフォームのすべての主要コンポーネントとともに、初期のメインネットOEFと元帳機能を提供します。 	
2019年第2四半期	<ul style="list-style-type: none"> ■ ベータ版のリリース：現在期待されているすべてのメインネットファンクショナルリプレゼントとファンクショナル⁹。 ■ ベータ版はメインネットリリースまで拡張されます 	<ul style="list-style-type: none"> ■ パートナーアクセラレータロードショーが始まります
2019年第4四半期末	<ul style="list-style-type: none"> ■ メインネット：Fetch. AIネイティブトークンを搭載したFetch. AIメインネットワークの初期リリース 	

この開発プロジェクトは私たちの最適な計画を表しています。私たちは開発と商業/学術のパートナーシップ開発のすべてに不測の事態を想定していますが、それでも対応しきれない状況がスケジュールを妨げる可能性が常にあります。

⁶ <https://medium.com/fetch-ai/synergetic-smart-contracts-with-fetch-ai-fbbd5812d767> を参照してください。

⁷ <https://medium.com/fetch-ai/how-fetch-ai-uses-market-intelligence-to-incentivise-optimal-performance-d6da8a341e17>を参照してください。

⁸ おおよそ機能するすべての主要な機能はバグとパフォーマンスの問題を伴い、必ずしも完全に統合されているわけではありません

⁹ ベータ版のリリース：効果的に完了：すべての機能は予想通りに機能しますが、調整、最適化、調整が必要



詳細情報

-  <https://token.fetch.ai> でFetch. AIトークンセールのための私達の専用ウェブサイト
-  最新の状態を保つため私たちのメーリングリストに参加してください <https://fetch.ai/mailling-list>
-  私たちの電信グループに参加https://t.me/fetch_ai
-  Twitter : https://twitter.com/fetch_ai



付録

プロジェクト文書

以下のドキュメントは、当社のWebサイトからダウンロードできます。

<https://fetch.ai/publications>

- ホワイトペーパー - 技術的な紹介
- ホワイトペーパー - デジタル経済の進化とデザイン
- イエローペーパー - スケーラブルな分散元帳の設計
- コンテキストのフェッチ・レジヤー

コード リポジトリ

私たちの公に利用可能なコードベースはGitHubにあります：

<https://github.com/fetchai>

貢献者の更新

オンデマンドでアップデートを入手する方法の詳細については、前のセクション「関与する」を参照してください。すべての寄稿者は、一般的な進捗状況について四半期ごとに更新されます。Fetch.AIは、コミュニティ、特にプロジェクトの貢献者との交流に熱心です。

著者とクレジット

Toby Simpson、Arthur Meadows、Humayun Sheikh、そしてFetch.AIのチーム。この著者たちは特に、この文書へのかなりのインプットについて、Outlier Ventures、TokenMarketおよび他の多くの人々から貴重な貢献をいただきたいと考えています。



©Fetch.AI Foundation Pte Limited, 2019